関西大学・津田塾大学主催　シンポジウム
「ライティング支援の未来像　社会との効果的な連携と支援ツールの活用」

関西大学の取組紹介

小林　至道
（関西大学 教育推進部 特任助教）

2014年11月8日（土）
関西大学千里山キャンパス

THINK × ACT
KANSAI UNIVERSITY

関西大学の取組

1. ライティングラボの運営・管理
2. ライティング講座の実施
3. 支援ツール・教材の開発
4. イベントの企画・実施

1. ライティングラボの運営・管理

（1）基本方針

・文章作成のプロセスを、TAが個別アドバイスによって支援する

・添削（赤入れ）は行わず、学生の「気づき」を促す

（2）支援体制（2014年11月現在）

・スタッフ：特任教員3名

事務員1名

TA（大学院生）26名

・場所：千里山、高槻キャンパスの2箇所

※2015年度より総合図書館内に新設予定

ライティングラボ（千里山）での相談風景

1. ライティングラボの運営・管理

（3）TAの募集・研修・ミーティング

・TA募集→書類審査・面接→採用→研修

・研修は約1ヶ月間（業務説明、TAとしての心得、ロールプレイ）

・TAと特任教員でミーティングを実施

（4）授業（カリキュラム）との連携

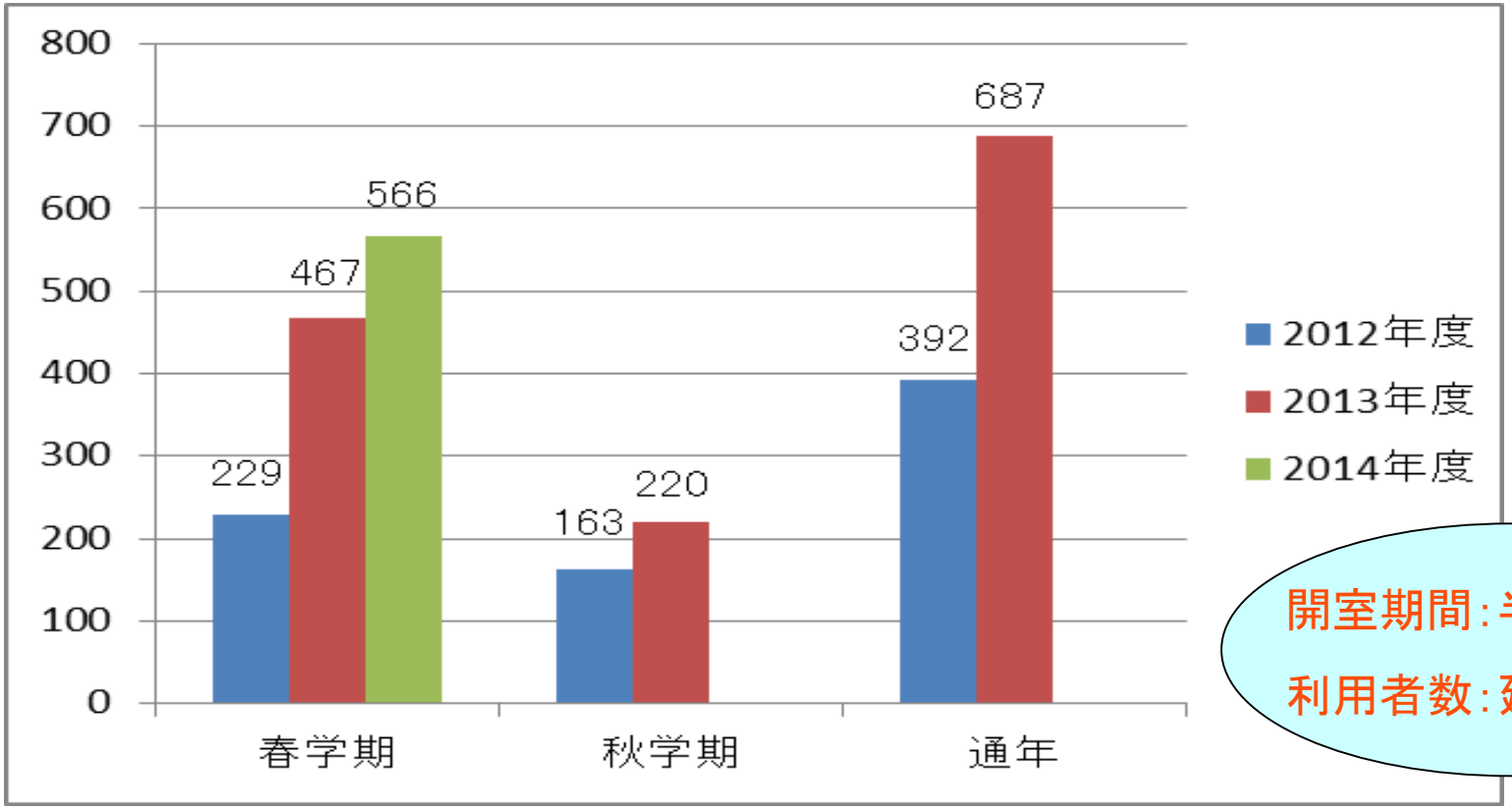
・授業担当教員からのラボ利用指示

・ラボ利用証明書の発行による授業担当教員へのフィードバック

・特任教員による利用ガイダンス、出張講座の実施

1. ライティングラボの運営・管理

（5）利用実績：学期ごと、通年の利用者数の比較



開室期間：半期約70日

利用者数：延べ人数

THINK × ACT
KANSAI UNIVERSITY

2. ライティング講座の実施

（1）「レポートの書き方」ワンポイント講座

・昼休みの30分×9回（千里山キャンパス）

・他キャンパスにも展開（30分版、90分版）

ワンポイント講座の一風景

（2）特定の学部生を対象とした講座

・スポーツ推薦入学者（SF生）対象：文章作成力向上講習会

・商学部対象：入学前教育の一環として

（3）高大連携の一環として高校生を対象とした講座

・ネックレスセミナー、ワンセミナー

３．支援ツール・教材の開発

（１）eポートフォリオシステムの開発

・体制：教員4名、ITセンター職員2名、開発企業4名

・検討会：週1、2回ペースで開発・システムの検証

・現在：TECfolioのプロトタイプ作成→検証・評価

（２）評価指標の作成

・体制：教員4名

・検討会：週１回

・現在：ライティングに関するクラスルーブリックの作成→検証

3. 支援ツール・教材の開発

(3)「レポートの書き方ガイド」の発行

・40ページ程度の小冊子

・これまでに基礎篇(2012年度)、入門篇(2013年度)を発行

・今年度も発行予定

4. イベントの企画・実施

（1）ステークホルダーによる講演会

①2012年度

・株式会社朝日新聞社

・講演名：書きたいことは、読みたいことですか？

②2013年度

・株式会社パソナグループ

・講演名：実践！ 社会に出て役立つ「伝える力」！

4. イベントの企画・実施

(2)「考動力作文コンテスト」

・ステークホルダーである伊丹市教育委員会の後援

・応募総数

①2013年度

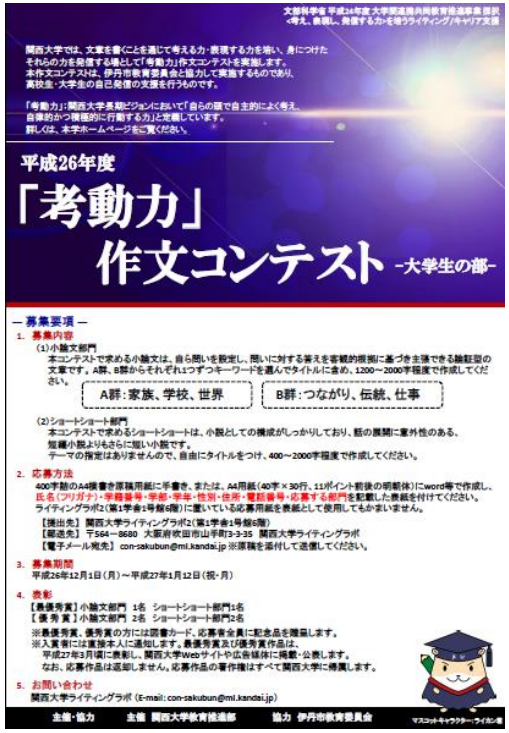
高校生の部:598作品

大学生の部:92作品

②2014年度

高校生の部:1070作品

大学生の部:広報中


文部科学省 平成26年度 大学関連推進教育推進事業採択
<考え、表現し、発信する力>を培うライティング/キャリア支援

関西大学では、文章を書くことを通じて考える力・表現する力を培い、身につけたそれらの力を発信する場として「考動力」作文コンテストを実施します。
本作文コンテストは、伊丹市教育委員会と協力して実施するものであり、高校生・大学生の自己発信の支援を行うものです。

「考動力」:関西大学長期ビジョンにおいて「自らの頭で自主的によく考え、自律的かつ積極的に行動する力」と定義しています。
詳しくは、本学ホームページをご覧ください。

平成26年度
「考動力」
作文コンテスト -大学生の部-

― 募集要項 ―

1. 募集内容
(1)小論文部門
本コンテストで求める小論文は、自ら問いを設定し、問いに対する答えを客観的根拠に基づき主張できる論証型の文章です。A群、B群からそれぞれ1つずつキーワードを選んでタイトルに含め、1200～2000字程度で作成してください。
A群:家族、学校、世界
B群:つながり、伝統、仕事
(2)ショートショート部門
本コンテストで求めるショートショートは、小説としての構成がしっかりしており、結の展開に意外性のある、短編小説よりもさらに短い小説です。
テーマの指定はありませんので、自由にタイトルをつけ、400～2000字程度で作成してください。

2. 応募方法
400字詰のA4横書き原稿用紙に手書き、または、A4用紙(40字×30行、11ポイント前後の明朝体)にword等で作成し、氏名(フリガナ)・学籍番号・学部・学年・性別・住所・電話番号・応募する部門を記載した表紙を付けてください。
ライティングラボ2(第1学舎1号館6階)に置いている応募用紙を表紙として使用してもかまいません。
【提出先】関西大学ライティングラボ2(第1学舎1号館6階)
【郵送先】〒564～8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 関西大学ライティングラボ
【電子メール宛先】con-sakubun@ml.kandai.jp ※原稿を添付して送信してください。

3. 募集期間
平成26年12月1日(月)～平成27年1月12日(祝・月)

4. 表彰
【最優秀賞】小論文部門 1名 ショートショート部門1名
【優 秀 賞】小論文部門 2名 ショートショート部門2名
※最優秀賞、優秀賞の方には図書カード、応募者全員に記念品を贈呈します。
※入賞者には直接本人に通知します。最優秀賞及び優秀賞作品は、平成27年3月頃に表彰し、関西大学Webサイトや広告媒体に掲載・公表します。
なお、応募作品は返却しません。応募作品の著作権はすべて関西大学に帰属します。

5. お問い合わせ
関西大学ライティングラボ (E-mail: con-sakubun@ml.kandai.jp)

主催・協力　主催 関西大学教育推進部　協力 伊丹市教育委員会
マスコットキャラクター「ライボン」

THINK × ACT
KANSAI UNIVERSITY

4. イベントの企画・実施

（3）Learning Café（学部生を対象としたスタディスキル系講座）

・本の読み方、プレゼンの仕方、ノートの取り方、メールの書き方

・そのうちの2回～3回で、TAによるライティングに関する講座

（4）ワークショップ

2013年度	・思考し表現する学生を育てるＶ－レポート・ライティングに関する授業設計を考える－
2014年度	・ライティング/キャリア支援のためのルーブリックの活用－海外の先進事例を踏まえて－ ・ライティング/キャリア支援におけるeポートフォリオの可能性 **・効果的なライティング/キャリア支援の方法を考える（明日）**

今後の課題

（1）ライティングラボの利用に関する量的・質的な分析

・どういう学生が、どのようにラボを利用しているのか

・ラボの利用によって学生のライティングの質がどう変化するか

（2）授業（カリキュラム）、学内関連部署・機関との連携

・支援ツール（eポートフォリオ・ルーブリック）の利活用を通して

（3）社会への発信

・ステークホルダーとの連携

・取り組み成果の発信